

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	196 社会福祉協議会その他の社会福祉団体助成					
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	つくば市社会福祉協議会
目的	地域におけるきめ細やかな福祉活動の支援を行うことで、地域福祉の充実を図る。
概要 (取組内容)	つくば市社会福祉事業費補助金交付要綱の規定に基づき、市内社会福祉法人の中核的団体である社会福祉協議会に職員人件費として補助金を交付する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	131,535	118,869	114,346	106,959	106,959	
	決算額	(千円)	112,788	104,635	91,476	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	112,788	104,635	91,476	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,410	1,416	1,411	1,071	1,071	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	自主運営に向けて、委託事業数を増やすとともに内容を充実させる方策を検討した。	
成果	社会福祉協議会が実施する市受託事業が1つ増え、自主運営に向けて前進した。	
課題	業務	社会福祉協議会の自主運営に向けた取り組み。
	組織、予算等	特になし
改善目標	社会福祉協議会の自主運営に向けて、正職員の配置や各事業の見直しを継続して検討していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	地域福祉活動の推進を図るため。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	198 茨城県都市福祉事務所長会事務					
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs		

事業の概要

対象	茨城県内の福祉事務所設置自治体
目的	福祉事務所所管業務の課題を県内広域的に解決できる体制づくりを構築する。
概要 (取組内容)	県内都市福祉事務所長が相互に情報交換を行い、所管業務の課題を解決するため研修会を実施する。（年2回）

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	22	7	7	7	7	
	決算額	(千円)	7	7	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7	7	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	353	355	354	354	354	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	研修会出席回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	福祉事務所所管事業の情報共有や課題の抽出、先進地の取り組みや他市町村の対応を確認できた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	199 法外援護事務					
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	行旅困窮者
目的	法令に基づく援護が受けられない行旅困窮者の窮状を救う。
概要 (取組内容)	行旅に困窮し、移動が困難な者に対して原則、交通費、弁当代をそれぞれ1,000円と500円を限度として現金を給付する。 医療機関を受診した者に対しては、医療費を現物給付する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	100	100	100	100	100	
	決算額	(千円)	10	7	19	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10	7	19	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	340	342	341	341	341	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	交通費、弁当代の支給件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	3.0	1.0	2.0	3.0	0.0	0.0
指標の概要	行旅に困窮し、移動が困難な者に対して支給を行った件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	申請者の状況に合わせ、行旅困窮者に適切な救済をした。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	200 各種社会福祉統計事業					
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	統計法、国民生活基礎調査規則			SDGs		

事業の概要

対象	市民
目的	厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得る。
概要 (取組内容)	社会福祉行政の実態を把握するため、福祉行政報告例（統計法等）により定められた各報告事項の業務報告や社会福祉施設等調査及び介護サービス施設・事業所調査、国民生活基礎調査を県の委託により実施する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	4	4	4	4	4	
	決算額	(千円)	0	0	28	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	28	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	353	355	354	341	341	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	5.00	5.00	5.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	国民生活基礎調査、家庭の生活実態及び生活意識に関する調査
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得ることができる。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	201 地域福祉計画進行管理					
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	茨城県地域福祉支援計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	社会福祉法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	つくば市地域福祉計画推進に係る関係部署
目的	市民主体のつくばらしい健康で健全な福祉のまちづくりを推進する。
概要 (取組内容)	つくば市地域福祉計画（第4期）の計画期間である令和3年度から令和7年度までの5年間の各種施策の進捗状況を管理する。令和3年3月地域福祉計画（第4期）策定、令和5年度中間評価、令和7年度次期計画策定及び最終評価。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,380	240	240	240	240	
	決算額	(千円)	1,098	72	152	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,098	72	152	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,194	1,782	1,777	1,436	1,436	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	0.25	0.25	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市地域福祉計画（第4期）策定委員会
企画・立案、計画	—
実行	つくば市地域福祉計画（第4期）策定委員会
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	地域福祉計画事業の進捗状況報告数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	実績	107.0	150.0	150.0	150.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域福祉計画（第4期）策定委員会を2回開催した。	
成果	令和5年度の間接評価に向けて、策定委員会において評価手法等について協議した。その結果、各担当課による評価を基に中間評価を実施することとなった。	
課題	業務	福祉に関連する各個別計画の上位計画としての位置づけられていることもあり、関係課が多岐にわたり、計画に位置付けられている施策数も多い。中間評価実施にあたっては、効率的な委員会の運営が求められる。
	組織、予算等	
改善目標	地域福祉計画（第4期）の中間評価においては各担当課による評価結果を取りまとめたものを委員会開催前に委員に報告する。評価結果に対する委員からの質問を取りまとめ、委員会開催前に対象となる課等に回答を依頼することにより委員会の運営を効率的に進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	202 社会福祉審議会事務					
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs		

事業の概要

対象	社会福祉分野における重要課題
目的	社会福祉に関する重要な事項を調査審議するとともに社会福祉行政の円滑な推進を図る。
概要 (取組内容)	市長が任命した学識経験者及び市職員30人以内で組織されたつくば市社会福祉審議会が、社会福祉に関する重要な事項を調査審議し、市長の諮問に対して答申を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	特になし	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	休止	
理由	社会福祉に関する重要な事項を調査審議する諮問機関であるが、現在はそのような案件が発生していないため。	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	203 日本赤十字社つくば市地区事務					
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs		

事業の概要

対象	災害被災者、市民
目的	災害被災者に見舞金や救援物資を支給し、被災者の自立の助長と保護を図る。日本赤十字社が必要な活動ができるよう、活動資金として一般社資、特別社資の募集・依頼をする。
概要 (取組内容)	火災及び床上浸水等の被災者に対し、日本赤十字茨城県支部つくば市地区小災見舞金等支給要綱の規定に基づき、被災の程度により、見舞金を支給するとともに救援物資を支給する。日本赤十字社の活動資金の寄付や義援金の受付・送金を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,434	1,440	1,436	1,022	1,022	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	見舞金支給件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	5.0	8.0	5.0	3.0
	実績	5.0	5.0	8.0	3.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	区会の減少に伴い、一般社資の金額減少が続いているが、特別社資としては、前年度よりも多い寄付金が集まり、日本赤十字社からの目標額も達成した。	
成果	日本赤十字社の活動に寄与した。また、被災者に見舞金を支給し、自立の助長が図られた。	
課題	業務	救援物資の支給について、夜間や休日の対応について検討が必要
	組織、予算等	特になし
改善目標	地域消防課と建物火災発生の際の救援物資の支給体制等について協議を進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	204 民生委員推薦会事務					
予算科目	01-030101-12 民生委員推薦会に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約	10-2			係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	民生委員法			SDGs		

事業の概要

対象	民生委員、児童委員
目的	民生委員・児童委員及び主任児童委員として、資質の高い人材を確保する。
概要 (取組内容)	市町村の議会議員、民生委員、教育関係者など14名の委員で組織し、民生委員に欠員が生じたとき、又は一斉改選時に民生委員児童委員及び主任児童委員として適正な人材を県に推薦するため、選考を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	401	401	401	401	401	
	決算額	(千円)	364	91	246	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	339	66	221	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	25	25	25	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	705	709	706	681	681	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	10.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	推薦会開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	4.0	1.0	3.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	区長への協力を仰ぎ、後任候補者の擁立に努めた。	
成果	一斉改選や欠員に伴い、3回の推薦会を開催し、民生委員児童委員としてふさわしい人材を県に推薦した。	
課題	業務	民生委員児童委員の担い手の確保が難しくなっている。
	組織、予算等	特になし
改善目標	区会や社会福祉協議会への協力を仰ぎ、欠員の縮小に努める。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続	
理由	法令（民生委員法）により市の実施が定められている。	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	206 行旅死病人等取扱事務						
予算科目	01-030101-14 行旅死病人取扱いに要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課		
市長公約				係名	社会福祉係		
戦略プラン				新規・継続	継続		
				事業分類	自治事務（義務）		
				事業体制	職員のみ		
個別計画				事業期間	毎年度		
根拠法令等	行旅病人及び行旅死亡人取扱法			SDGs			

事業の概要

対象	行旅死病人
目的	行旅死亡人の火葬・埋葬及び行旅病人の人的支援、救護
概要 (取組内容)	行旅病人の生活・養護についての相談指導、必要な援護措置縁故者の調査 行旅死亡人の葬祭執行、遺骨の保管、縁故者の捜査、慰留金品の保管処分その他必要な調査及び同伴者 (行旅病人又は行旅死亡人に同伴し、救護を必要としている者)の救護、告示、官報への掲載

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,020	1,020	4,035	4,035	4,035	
	決算額	(千円)	759	620	3,628	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	759	620	3,628	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	340	342	341	341	341	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	行旅死病人発生件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	4.0	9.0	6.0	20.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	法律の定めるところにより、適切に行旅死病人を取り扱うことができた。	
課題	業務	引き取り手のない遺体の増加により納骨堂の収納場所が手狭になってきている。
	組織、予算等	特になし
改善目標	収納場所を確保するため、散骨施設等を整備するなどの対応を検討していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続	
理由	法令（行旅病人及行旅死亡人取扱法）により、市の実施が定められている。	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	207 戦没者追悼式事業					
予算科目	01-030101-15 遺族等援護に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs		

事業の概要

対象	戦没者の遺族等
目的	先の大戦の戦没者及びその遺族に追悼の意を表するとともに、遺族の労苦にて深い敬意を表し、併せて恒久の平和を祈念する。
概要 (取組内容)	つくば市遺族連合会の協力を得ながら、厳粛に、かつ、安全に戦没者追悼式を挙げる。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,886	1,470	1,735	1,805	1,805	
	決算額	(千円)	0	0	1,386	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	1,386	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,114	2,123	2,117	2,117	2,117	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	戦没者追悼式参列者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	500.0	500.0	450.0	450.0	450.0	450.0
	実績	433.0	0.0	0.0	259.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	遺族会と協議して送迎時のバスルートを見直しを図った。	
成果	参加者の利便性を高めつつ、効率的な送迎を実施できた。	
課題	業務	戦後77年を迎え、遺族の高齢化等により式典への参加者が減少している。
	組織、予算等	特になし
改善目標	式典への参加者を令和4年度比で90%程度を目標とする。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	208 戦没者慰霊事業補助					
予算科目	01-030101-15 遺族等援護に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs		

事業の概要

対象	戦没者の遺族等
目的	慰霊事業の実施を促進する。
概要 (取組内容)	つくば市遺族連合会に補助金を助成し、6地区の慰霊事業に要する経費の一部を助成する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	決算額	(千円)	1,000	1,000	716	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,000	1,000	716	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	340	342	341	341	341	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	慰霊事業参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	272.0	269.0	253.0	279.0
	実績	422.0	0.0	22.0	104.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	参加者が減少しているなかでの、慰霊事業の実施方法等について、市遺族連合会と協議した。	
成果	前年度と比較して、慰霊事業の実施地区数、参加者数ともに増加した。	
課題	業務	戦後77年を迎え、遺族の高齢化等により慰霊事業への参加者が減少している。
	組織、予算等	特になし
改善目標	慰霊事業への参加者を令和4年度比で90%程度を目標とする。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	209 戦没者遺族等援護事務					
予算科目	01-030101-15 遺族等援護に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法			SDGs		

事業の概要

対象	戦傷病者及び妻・戦没者遺族等
目的	戦傷病者及び妻・戦没者遺族等の援護をもって福祉の向上を図る。
概要 (取組内容)	戦傷病者の妻に対する特別給付金、戦没者の妻に対する特別給付金、特別弔慰金などの受付・進達事務及び国債の交付等の事務を行う。 戦傷病者に対しては、無賃乗車券引換券交付等の事務を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,854	757	755	415	415	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.85	0.10	0.10	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	戦傷病者戦没者遺族等への進達受付・交付件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	130.0	255.0	0.0	0.0
	実績	14.0	1,170.0	800.0	604.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	第十一回特別弔慰金の申請期限が令和5年（2023年）3月31日であるため、未申請者等に対して個別に申請を促す勧奨通知を発送し、申請漏れの防止を図った。
成果	第十一回戦没者等の遺族に対する特別弔慰金 請求受付 224件 進達処理 165件 国債交付件数 171件
課題	業務 高齢等で来庁が困難で、国債の受け取り手続きが完了しない申請者が見られる。 組織、予算等
改善目標	来庁が困難な申請者に対して、訪問等のフォローにより、国債の交付を完了させる。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	210 社会福祉法人の設立・認可事務					
予算科目	01-030101-17 福祉監査に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	福祉監査係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	社会福祉法			SDGs		

事業の概要

対象	社会福祉法人
目的	社会福祉法の規定に基づいた法人の設立や定款変更の認可等を行い、地域福祉拠点としての公共性を維持する。
概要 (取組内容)	社会福祉法の規定による各種申請の上、法令の規定に違反していないかを審査し認可を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,188	1,513	2,190	2,190	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.20	0.30	0.30	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	60.00	60.00	60.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	社会福祉法人設立認可 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	2.0	1.0	1.0	3.0	0.0	0.0
指標の概要	社会福祉法人設立について認可した件数						

2	指標名	社会福祉法人定款変更認可、定款変更届出 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	7.0	13.0	5.0	8.0	8.0	0.0
	指標の概要	社会福祉法人定款変更認可数と定款変更届出数の合計数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・正職員の補助的な業務への協力体制の強化を目的に、会計年度任用職員の業務の見直しを図った。 ・人事異動の際に円滑に業務が引き継ぎを行えるように、年間の業務の目安となるスケジュール表を作成した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・係内のミーティング、情報共有等の係内の連携体制を強化し、社会福祉法人関連の業務について円滑に行うことができた。 ・年間のスケジュール表を目安に、円滑に業務を行えた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の種別を超えた連携支援（社会福祉連携推進法人の推進）の推進等、新たな業務への対応が必要となっている。
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉連携推進法人の推進について、先行事例の収集、他自治体の動向等の調査を行う。
業務	
組織、予算等	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	211 社会福祉法人等の監査事務					
予算科目	01-030101-17 福祉監査に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	福祉監査係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	社会福祉法 他			SDGs		

事業の概要

対象	社会福祉法人、社会福祉施設及び福祉サービス提供事業者
目的	入所者等の支援の向上及び運営の適正化を図る。
概要 (取組内容)	社会福祉法及び関係法令等の規定並びに市指導監査方針及び実施計画に基づき、法人に検査調書等の提出を求め、実地による指導監査を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	195	134	134	0	0	
	決算額	(千円)	168	77	90	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	168	77	90	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,174	9,492	12,189	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.70	1.30	1.70	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	250.00	250.00	250.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	指導監査対象法人・施設数 (施設)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	142.0	144.0	114.0	169.0	0.0	0.0
	指標の概要	指導監査を実施した数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務所に講師の依頼をし、法人の監査に必要な会計についての研修を実施した。 ・監査に必要な専門的知識習得を目的に、ベテラン職員の指導の下、係内での勉強会等を実施した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・監査に必要な専門的知識習得を目的に、係内での勉強会、研修等を実施した結果、円滑な指導監査を実施することが出来た。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 業務 監査対象の法人・事業所数が増加している中、監査の精度を落とさず、効率的・効果的な監査を実施することが求められる。 組織、予算等
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の指導監査の結果等のデータを活用するなど、重点的に見る項目等を確認して運営指導の効率化を図る。 ・継続的に専門的知識習得のための研修を計画・実施していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	217 生活困窮者自立支援事業					
予算科目	01-030301-12	生活困窮者自立支援事業に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課
市長公約					係名	保護係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等	生活困窮者自立支援法				SDGs	01貧困をなくそう
	生活困窮者自立支援法施行規則					

事業の概要

対象	生活困窮者
目的	生活困窮者の自立を促進する。
概要 (取組内容)	生活保護に至る前の支援策として、生活困窮者自立支援法に定める自立相談支援事業、住居確保給付金支給事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業、一時生活支援事業を一体的に実施し、生活困窮者の自立を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	16,735	53,474	53,474	48,468	48,468	
	決算額	(千円)	0	48,822	42,149	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	16,227	14,050	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	32,595	28,099	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,843	2,856	2,847	123	123	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページを活用した情報発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	就労支援対象者の就労・増収者率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
	実績	55.0	25.0	27.7	30.0	0.0	0.0
指標の概要	就労支援対象者の就労率						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新たな支援策として一時生活支援事業を開始するとともに相談支援体制を強化するため支援員を1名増員した。	
成果	支援員を1名増員したことにより訪問による支援件数が令和3年度32件に対し、令和4年度は89件と増加しており、より生活に密着した支援を行うことができた。また、就労支援については労支援対象者63名中、就労や増収につながった方は19名（就労率30%）であった。	
課題	業務	相談者の年齢層が若年化していることや複雑多岐な課題を抱えている方からの相談も多く、解決までに時間を要することが多い。また、他機関との情報共有や協働が必要な事案も多いため連携体制を強化していく必要がある。
	組織、予算等	複雑多様化する相談内容に適切かつ迅速に対応できるよう人員の配置を含め相談支援体制の強化を検討していく必要がある。
改善目標	事業の委託先と連携し、支援員の増員も含め相談支援体制を強化する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	相談支援体制を強化するため支援員を増員する予定であるため	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	218 被災住宅復興支援事業					
予算科目	01-030401-11 災害救助に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市東日本大震災・竜巻災害に伴い被災した住宅の復旧に要する資金の利子補給に関する条例			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	東日本大震災及び竜巻災害による被災者
目的	被災者の自立の助長を図る。
概要 (取組内容)	東日本大震災及び竜巻により被災した住宅の復旧に要する資金を金融機関から借り入れた場合、借り入れに係る利子の補給を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,340	970	480	320	0	
	決算額	(千円)	1,254	794	462	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,254	794	462	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	705	709	706	341	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.05	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	10.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	利子補給支給件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	21.0	20.0	13.0	7.0	0.0	0.0
	指標の概要	東日本大震災、竜巻災害により被災した住宅復旧に要する貸付利子の補給件数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	被災者の自立助長と保護が図られた。 被災住宅復興資金利子補給支給 東日本大震災 4件 193,100円 竜巻災害 3件 268,000円	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	2	今後は減少が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	縮小
理由	条例により利子補給期間が10年と定められているため、対象者が減少している。令和5年度が事業最終年度。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	219 つくば市災害見舞金支給事業					
予算科目	01-030401-11 災害救助に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	社会福祉係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市災害見舞金等支給要項			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	火災及び床上浸水等の被災者
目的	被災者の自立の助長と保護を図る。
概要 (取組内容)	火災及び床上浸水等の被災者に対し、被害の程度や世帯員数により見舞金を支給する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	300	300	300	300	300	
	決算額	(千円)	140	180	130	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	140	180	130	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	680	684	681	341	341	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	見舞金支給件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	5.0	7.0	3.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	被災者の自立の助長と保護が図られた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	017 生活保護事業					
予算科目	01-030301-11 生活保護対策に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課	
市長公約				係名	保護係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	生活保護法			SDGs	01 貧困をなくそう	

事業の概要

対象	生活困窮者
目的	健康で文化的な生活を保障するとともに、生活困窮者の自立を助長する。
概要 (取組内容)	国からの法定受託事務として、要保護者の困窮の程度に応じ、生活扶助、医療扶助、介護扶助等必要な費用を給付して自立を助長する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	2,127,526	2,161,859	2,207,194	2,272,747	2,272,747	
	決算額	(千円)	2,116,159	2,498,328	2,193,702	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	420,592	789,514	606,858	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,695,567	1,708,814	1,586,844	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	118,833	119,334	117,213	117,213	117,213	
	内訳	正職員従事割合	(人)	16.60	16.60	16.60	16.60	16.60
		正職員時間外勤務	(時間)	2,426.00	2,426.00	1,705.00	1,705.00	1,705.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページを活用した情報発信
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	生活保護申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	180.0	184.0	269.0	229.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	生活保護受給世帯数 (世帯)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	927.0	964.0	1,010.0	1,055.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	医療券発行枚数 (枚)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	31,572.0	32,640.0	34,080.0	36,470.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	介護券発行枚数 (枚)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9,198.0	9,010.0	9,385.0	10,110.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	一部の職員に相談や申請が集中した際には、他の職員が代行し必要な手続き及び調査を行う協力体制を構築した。また、継続して自立相談支援機関と連携し生活困窮者の状況に応じた支援を行った。	
成果	係内での協力体制を構築することで一部の職員に事務が集中し、業務が遅延することを予防することができた。 また、自立相談支援機関と緊密な連携を行うことで切れ目のない支援を実施し、生活保護を必要とする方に速やかに対応することができた。	
課題	業務	若年層の相談が増加し、多様な課題を抱えるケースも増加しているため、継続して適切な生活保護事務の遂行及び多様化する相談への支援体制、対応能力の向上が必要である。
	組織、予算等	被保護者世帯、被保護者人員とも増加傾向であるため、今後も扶助費は増加する見込みである。
改善目標	複雑多様化する課題に対応するための支援体制及び対応能力の向上	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	今後も被保護世帯の増加が見込まれるため

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	076 避難行動要支援者事務						
予算科目	01-030401-11 災害救助に要する経費			担当部課	福祉部社会福祉課		
市長公約	71			係名	社会福祉係		
戦略プラン				新規・継続	新規		
				事業分類	自治事務（義務）		
				事業体制	職員のみ		
個別計画				事業期間	毎年度		
根拠法令等	災害対策基本法			SDGs			

事業の概要

対象	避難行動要支援者					
目的	災害時に自力での避難が難しい方の名簿を作成し、避難支援に活用する。					
概要 (取組内容)	避難行動要支援者名簿の掲載要件（介護認定や手帳の所持）に該当する者の名簿を作成する。また、掲載者に対して外部への情報提供の同意を確認し、同意した者の名簿については、平常時から避難支援者に提供する。さらに個別避難計画として、個々の避難計画を作成することで、災害時の迅速な対応に活用していく。					

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	719	745	745	745	745	
	決算額	(千円)	685	700	712	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	685	700	712	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,720	2,734	2,724	2,384	2,384	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.35	0.35
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	個別支援計画策定数 (%)					成果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	1.0	7.0	30.0	60.0	70.0	80.0
	実績	1.0	4.4	76.0	80.6	0.0	0.0
指標の概要	外部への情報提供に同意している避難行動要支援者の個別支援計画策定率						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	対象者宅を訪問し、対面にて制度説明等を実施した。その結果、個別避難計画の策定率が向上した。	
成果	避難行動要支援者名簿登録者 3,266名 避難支援者への情報提供同意者 1,332名（登録者の40.8%） 個別支援計画作成済み 1,073名（同意者の80.6%）	
課題	業務	要介護認定、障害認定等により約1,000名ほどが新たに名簿に登録される。しかし、名簿登録者のうち毎年700～800名ほどが死亡、転出、施設入所等の理由で名簿から除外されるなど名簿登録者の入れ替わりが多いため、個別避難計画の策定の推進が難しい。
	組織、予算等	特になし
改善目標	引き続き対象者宅の訪問を実施し、制度の説明等を行い、個別避難計画の策定を推進する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	205 民生委員児童委員協議会調整事務					
予算科目	01-030101-13 民生委員活動に要する経費				担当部課	福祉部社会福祉課
市長公約	10-2	10-3			係名	社会福祉係
戦略プラン	II-1	2	1	民生委員とふれあい相談員との連携推進		新規・継続
						継続
						事業分類 自治事務（任意）
個別計画						事業体制 補助金（直接）
						事業期間 毎年度
根拠法令等					SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	民生委員、児童委員、ふれあい相談員
目的	各民生委員児童委員及び主任児童委員の資質向上を図る。
概要 (取組内容)	定例会では、行政担当者を講師として、生活保護制度、児童母子福祉、障害福祉、高齢福祉等、福祉全般に関する行政手続を研修し、民生委員児童委員及び主任児童委員としての資質向上に努める。民生委員、ふれあい相談員の連携強化のための活動支援を行う。 支部別研修・事項別研修・視察研修を通し、福祉施設の現状視察や各々の事例検討を行い、民生委員児童委員及び主任児童委員としての資質向上に努める。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	30,904	30,904	31,418	30,904	30,904	
	決算額	(千円)	26,067	27,108	28,573	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	26,067	27,108	28,573	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,427	6,455	9,159	9,159	9,159	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	0.90	1.30	1.30	1.30
		正職員時間外勤務	(時間)	125.00	125.00	125.00	125.00	125.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	民生委員が受けた相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	6,490.0	5,814.0	5,872.0	6,237.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-1-②民生委員等のサポート強化と次世代の育成) 民生委員が受けた相談件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	各種福祉制度のほか、防災等に関する内容等幅広い分野の研修を実施した。	
成果	事業計画に基づき、各地区ごとに研修を行った。また、社会福祉協議会が開催するいきいき会議等に民生委員も参加するなど、ふれあい相談員との連携を図った。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	197 地域福祉推進事業					
予算科目	01-030101-11 社会福祉推進に要する経費				担当部課	福祉部社会福祉課
市長公約	10-2	10-3			係名	社会福祉係
戦略プラン	II-1	2	2	学校で親子への支えあいボランティアの体	新規・継続	継続
	II-2	2	2	ボランティア事業の推進	事業分類	自治事務（任意）
個別計画	地域福祉計画（第4期）				事業体制	全て委託
	根拠法令等				事業期間	毎年度
SDGs					03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	市民主体のつくばらしい健康で健全な福祉のまちづくりを進める。
概要 (取組内容)	住民参加型福祉サービス拡大事業（つくばさわやかサービス）、ボランティア育成・支援・研修事業、福祉相談事業の3事業を社会福祉協議会に委託して実施。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	14,960	14,375	14,375	14,415	14,415	
	決算額	(千円)	14,415	14,178	14,322	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	14,415	14,178	14,322	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	705	709	706	366	366	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.05	0.05
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	ボランティア登録団体数 (団体)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	190.0	195.0	200.0	155.0	160.0	215.0
	実績	186.0	154.0	152.0	153.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-1-②民生委員等のサポート強化と次世代の育成) ボランティア登録団体数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながら事業を継続して実施することができた。	
成果	地域福祉の推進が図られた。	
課題	業務	地域共生社会の実現に向けて次代を担う子供たちが高齢者や障害のある方に対する理解を深める機会を提供していく必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	学校以外の場においても福祉体験等の機会を設け、子供たちが福祉に触れる機会を継続的に実施していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	地域における福祉活動の推進及び次世代の担い手育成が必要なため。	